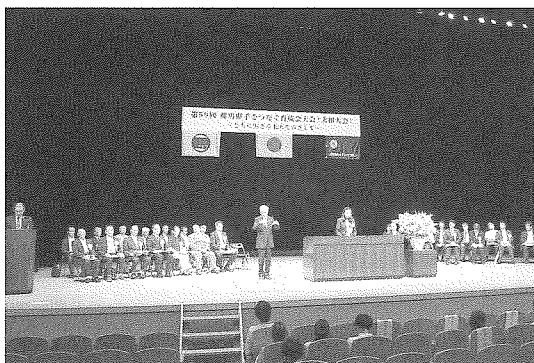




発行者 一般社団法人 群馬県手をつなぐ育成会
会長 江村 恵子

〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町13-12 群馬県社会福祉総合センター5F
TEL 027-255-6212・FAX 027-255-6241
印刷所 朝日印刷工業(株) ☎ 027-251-1212



江村会長の式典挨拶

群馬県手をつなぐ育成会主催の第五十九回群馬県手をつなぐ育成会大会が令和六年八月二日、太田市新田文化会館エアリスホールにおいて開催されました。

今回は、太田市で十一年ぶりの開催で、特に、学校関係者の参加を容易にするため、夏季休業中で平日の金曜日午後の日程で行われました。

大会には、県内各地から、教育・福祉関係者・本人・家族、行政・支援関係者ら、約三百人が会場参加しました。内容の特色は、式典とアトラクションを本人及び家族の参加型

第五十九回群馬県手をつなぐ育成会大会を太田市で開催

「ともに生きる未来をめざして」

太田市手をつなぐ育成会 会長 饗庭敏彦

で実施しました。

本大会の太田市関係の共催団体は、太田市教育委員会を始めとし、太田市手をつなぐ育成会、敷塚本町手をつなぐ育成会、尾島地区手をつなぐ育成会、太田市手をつなぐ親の会を合わせた四団体で構成し準備と運営を進めました。

大会のテーマは、「ともに生きる未来をめざして」と題し、次に掲げる八項目の内容が決議されました。

- ・ 障害者差別解消法の改正による合理的配慮の周知と支援措置の強化
- ・ 発達障害児への支援を含めた特別支援教育の充実と基礎的環境整備
- ・ 「親なきあと」も安心して暮らせる地域環境の整備
- ・ 地域で暮らし続けるための場所の確保と支援体制の充実
- ・ 日中活動の場の充実と支援体制の安定
- ・ 地域で就職し、その職場で安定して働き続けられるための支援制度の充実
- ・ 地域生活を支え、維持していくための相談支援事業の大幅な拡充と地域生活支援拠点等の整備、機能拡充

・ 災害時における障害者等特別な配慮が必要な方の避難システムの整備と支援ネットワークの構築

大会の様子については、オンラインで配信されるとともに、県内各地にサテライト会場が設けられ、関係者の方々が地元において視聴できるような配慮がされました。同時に手話通訳の配慮もされました。

オープニングは、おた芸術学校付属合唱団「コールエンジェル」と太田市手をつなぐ親の会父母の皆さんによる「手をつなぐ母の歌」の合唱で始まり、会場参加者の皆さんと一緒に歌いました。



コールエンジェルの合唱

引き続き合唱団による歌で会場の雰囲気さらに盛り上がりしました。曲の中でも、能登半島地震被災地の復興への願いを込めて「花は咲く」が歌われ、共に生きる社会の実現への想いを届けました。

式典の冒頭では、群馬県手をつなぐ育成会江村会長が「皆さんと手を

つなぎ、知的障がい者が安心して暮らせる共生社会の実現に努めたい」と挨拶しました。さらに、共催者を代表して、太田市教育委員会の恩田由之教育長から特別支援教育の充実についてご挨拶がありました。

続いて、特別支援教育と障がい者福祉に貢献した永年功労者及び特別功労者の個人百四人と七団体に感謝状が贈られました。受賞者を代表して太田市の木村隆美さんから、これまでの実践を振り返ってのご挨拶をいただきました。

続く来賓祝辞では、県知事からのメッセージを始めとして、五名の方々から温かい言葉を賜りました。特に、太田市の清水聖義市長からは、パン屋さん「スワンベーカー」を立ち上げたときのエピソードをまじえて、障がい者福祉への熱い想いを語っていただきました。

さらに、障がいのある本人たちでつくる群馬県「つるの会」と太田市「ともの会」の二団体の代表者が活動報告を行い、グループホームの増設や安心して働ける職場づくりなど四項目の要望をステージから力いっぱい発表しました。

後半のアトラクションでは、まず、太田市小中特別支援学級及び群馬県立太田特別支援学校の児童生徒の活動紹介として、フォトムービーが流され、ステージ上の大画面に映し出された活動の様子に会場の皆さんから、笑顔で温かいまなざしが注がれ

ました。この間、並行して、手をつなぐ育成会県内各支部の紹介がオンライン配信されました。

それに続いて、障がい児者と太鼓の会・どんくクラブによる和太鼓演奏、群馬県立太田高等特別支援学校の生徒による「こうようソーラン」のステージ発表が披露され、壮大な演技により、会場の皆さんと心が一体となり、盛り上がりました。

大会の一環として、会場の一階においては、市内福祉施設・団体等による展示及び販売が行われ、会場に訪れた皆さんが実際に品物を手にするなどして、障がい者福祉への理解をさらに深めることができました。

大会の実施に向けては、準備段階から多くの後援団体、協賛団体、関係者の方々のご支援とご協力を賜りました。特に、太田市区長会、民生児童委員協議会、PTA連合会、小中義務教育学校及び特別支援学校、福祉施設・団体には当日の運営及び



こうようソーラン



施設・団体の展示・販売

参加に至るまで、多大な協力をいただきました。

事務局一同、ここに深く感謝する次第です。来年度は、沼田市開催の第六十回大会に引き継がれます。(太田市立中央小学校内「太田市手をつなぐ育成会事務局」記)

みんなが主役！活動・感動を共有しともに生きる未来へ

太田市藪塚本町手をつなぐ育成会

会長 八高幸子

太田市は平成十七年三月二十八日、一市三町が合併し新市としてスタートしました。今年度は合併二十周年記念行事がたくさん行われています。県手をつなぐ育成会大会太田大会は合併後、二回目の開催です。今回は、太田市教育委員会・太田市親の会、市内三支部「太田市・藪塚本町・尾島地区手をつなぐ育成会」が共催という形での開催となりました。準備・

運営等を通して三支部のつながりが強くなった大会となりました。

式典に続き、市内小中特別支援学級・県立太田特別支援学校の活動がフォトムービーで紹介されました。多様な活動の中での笑顔・真剣な表情・チームワークなど、画像一枚一枚に共感と発見がたくさんありました。刺激し合い・学び合う情報満載のフォトムービーは、特別支援学級のつながりをより強くすることが期待できます。準備・運営にも熱心に取り組んでくださった先生方。つながることで関係が深まり、特別支援教育が一層充実すると確信しています。

記念発表会では、会場の皆さんの手拍子・掛け声も加わり、大迫力の和太鼓演奏やこうようソーランで、『ともに』を全員で実感しました。

また、ロビーに掲出された各福祉作業所等の取組のパネル・制作作品、販売活動は、フォトムービーと同様、太田市の各施設の創意工夫された取組が満載で、本人たちが自己肯定感を味わえるものでした。これらも各施設等が共有することで、未来につながる大きな力になることでしょう。

オープニングでは「手をつなぐ母の歌」をおおた芸術学校付属合唱団「コールエンジェル」と親の会有志が合唱しました。続いてコールエンジェルは、メッセージ性のある曲を来場の皆さんへ届けました。表情豊かに歌い上げるメンバー。一瞬も聞き逃さないようステージに視線を向ける参加者。

両者で作り上げるこの時間・空間こそ、共生社会創生の第一歩でしょう。発信する人、受け止める人、互いを尊重し合う場面が心に残りました。会場では、知り合いとの再会を喜ぶ姿があちこちにありました。笑顔・学び・つながるがいったいみんなが主役の大会になりました。

第五十九回群馬県手をつなぐ育成会大会・太田大会を終えて

太田市尾島地区手をつなぐ育成会

会長 木山真伸

太田市尾島地区手をつなぐ育成会の会長を務めさせていただいております。この度は、太田市手をつなぐ育成会の饗庭会長にお声がけいただき、共催という形で県大会に参加させていただきました。初めての経験でありお力になることができませんでしたが、とても貴重な経験をさせていただきました。関係者の皆様には大変感謝申し上げます。

さて、我々太田市尾島地区手をつなぐ育成会は、太田市の西に位置しております。尾島町と世良田町を中心に活動を行っております。尾島中学校内に事務局を構え、尾島小、尾島中、世良田小の特別支援の子どもたち、または、地域の障がい者とともにレクリエーションやイベントなどを行っております。最近恒例行事になっているのは、夏のブルーベリー

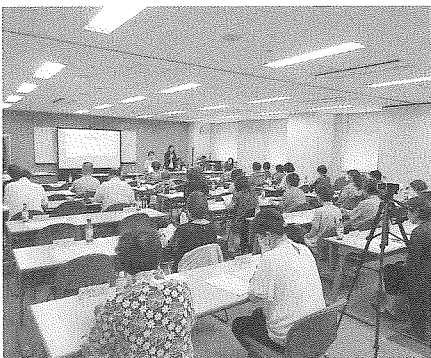
狩りと、冬のクリスマス・フラワー・アレンジメント体験です。毎回たくさんの方にご参加いただき、楽しく活動させていただいております。

狭い範囲での活動が多く、なかなか他の地域の手をつなぐ育成会の方々と触れ合うことが少なかったため、今回の県大会に参加でき本当によかったと思います。関係者の方々にはあらためて感謝いたします。本当にありがとうございました。

令和六年度各支部育成会・親の会役員交流会を開催

九月十九日、県社会福祉総合センター二〇三会議室において、令和六年度各支部育成会・親の会役員交流会を開催しました。

今回の交流会は、対面のみとし、原則各支部から二名の参加をお願いし、午前午後とまたがるかたちで開催しました。



支部役員交流会

県内各支部から合計四十名の方の参加があり、各地区の皆さんと多々情報共有を図ることができました。

午前の部では、県障害政策課支援調整係長の粕川氏から、「県の障害福祉施策について」と題し、県の障害者福祉の総合計画である「バリアフリーぐんま障害者プラン8」の概要や、共同生活援助（グループホーム）の概要と現状について、（株）恵の事業について、グループホームの課題と対応について説明がありました。

この中で、グループホームの利用実績が、県全体で平成三十一年に二、〇一六人だったのが、令和五年に二、九七四人と四十八パーセントも増加していること、利用見込みが今後着実に増加していくのに対し、供給体制は県全体では十分なもの、地域差があり、特に北毛や西毛地域では供給不足が見込まれることが説明されました。

また、全国的に注目を集めている愛知県に本部を置く（株）恵の事業について、令和六年六月に愛知県が指定取消処分を行い、連座制が適用されることになり、全国の同社の運営する事業所が指定更新できないこととなったこと、群馬県内にも六か所の事業所があり、ただちに指定が取り消され事業停止になるわけではないものの、指定期間が切れる令和九年九月以降、順次、更新ができなくなり事業継続できないため、利用者への福祉サービスの継続確保のため、

一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会の 会員の皆様へ 手をつなぐがん保険

障がいのある方とそのご家族をワイドにお守りする保険です

なぜ障がいのある息子はがん保険に加入できないのでしょうか？^(※)

(※) ぜんち共済のアンケートより
久保会長とぜんち共済社長の根本が「手をつなぐがん保険」に対する思いを対談形式で語っています。また、又村事務局長による加入方法のご案内もあります。動画を是非ご覧ください！

動画はこちらから
<https://youtu.be/MU8sw5li8yk>

特長1
代理手続き
代理告知が可能
障がいのある方向け
プラン

特長2
告知対象
疾患の緩和
障がいのある方向け
プラン

特長3
“親なきあと”に
備える補償
障がいのある方
ご家族向けプラン

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「がん保険加入者説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のペットネームです。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は下記お問い合わせ先（取扱代理店）に資料請求をお待ちしております。

（お問い合わせ先取扱代理店）
・ぜんち共済株式会社
〒102-0073
東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階
0120-322-150
TEL: 03-6910-0850 / FAX: 03-6910-0851
URL: <http://www.z-kyosai.com>
MAIL: gan@z-kyosai.com
（営業時間 平日10:00～16:00（土日・祝日・年末年始を除く））

たった1分
スマホでカンタン資料請求
QRコードはダウンロードの
要です
（引換保険会社）
東京海上日動火災保険株式会社
公務部一部東京公務課
〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4
TEL: 03-3515-4126（営業時間：平日9:00～17:00）

2022年5月作成 22-TC00935

他の法人への譲渡がなされるよう国や県の指導や調整が行われるとのことでした。

参加者からは、グループホームの監督権限のある県に対し、サービス利用者に不利益が生じないよう、事業者への適切な指導監督を求める意見や要望が出されました。

午後の部では、各支部から、育成会活動の取組状況を中心に報告をいただいたほか、新しい会員を確保する工夫などについて、出席者からご報告をいただき意見交換を行いました。また、今後の県大会の開催方法についても議論が行われました。

第五十一回福祉パレード 知的障害者福祉月間記念行事

第五十一回福祉パレード中央集会在九月十日(火)に県庁県民ホール北側で開催されました。

今回は特別支援学校が幹事となり実施され、県からは津久井副知事、須藤県議会議長、平田教育長が出席され、県内から多くの関係者が参加しました。

まず、県立沼田特別支援学校の井草校長が知的障害者への理解と支援を求めるメッセージを朗読し、その後、知的障害者本人がメッセージを朗読し、直接日々の活動状況や要望を伝えました。

その後、津久井副知事、須藤議長、平田教育長に福祉作業所で作られた

製作品を障害者本人から贈呈し、温かい励ましの言葉をいただきました。今後関係団体が連携して継続した取組を行うことが求められます。なお、来年度は育成会が幹事となります。

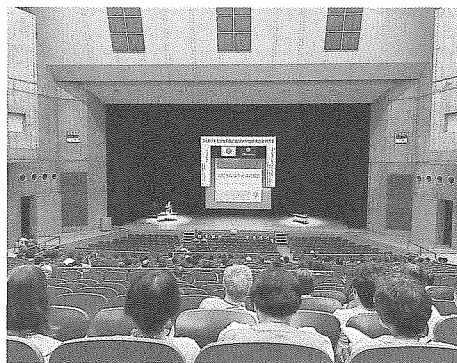


中央集会メッセージ

関東甲信越ブロック新潟大会 について

令和六年九月二十八日(土)新潟市の新潟テルサにおいて、第五十八回手をつなぐ育成会関東甲信越大会新潟大会が開催され、一都九県の関係者三百八十人が参加しました。開会式典のあと、全育連の又村常務から中央情勢報告があり、続いて、兵庫県丹波篠山市の(株)おめめどう・奥平綾子代表取締役から「障害のある人の暮らしを支える支援ツール」と題し講演が行われました。その後、大

会宣言が決議され、本人宣言の朗読、次回開催地である東京都手をつなぐ育成会・立原理事長のあいさつがあり閉会となりました。会場には障害者の絵画作品が展示され、また、県立自然科学館の見学などの本人参加イベントも行われました。



関東甲信越ブロック新潟大会

県育成会等の今後の行事予定

十二月二十八日

親なき後を考える講演会

十二月十三日

県社会福祉総合センター

十二月十三日

知的障害への理解促進委員会

一月二十日(予定)

県社会福祉総合センター

一月二十日(予定)

知的障害への理解促進セミナー

三月十三日(予定)

県社会福祉総合センター

三月十三日(予定)

県手をつなぐ育成会第二回理事会

県社会福祉総合センター

知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

https://www.aig.co.jp/sonpo

東京第二プロチャネル営業部

〒105-8602 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル15階

TEL: 03-5401-3660

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

発達障がい児者の方もご加入いただけるようになりました。

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金

病気で死亡したとき
疾病葬費費用保険金 ※プランによって補償します

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償 ※プランによって補償します

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任補償

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人 群馬県知的障害児者生活サポート協会

〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町13番12号

群馬県社会福祉総合センター5階

TEL: 027-288-0120 FAX: 027-288-0121

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

http://www.gunsapo.jp/

2024年1月現在の内容です。(D-007027 2025-03)